

今年、母に手紙を書きました。ありがとうございます。母がしてくれた事を思い出して、50項目の感謝を伝えました。

産んでくれてありがとうございます。お祭りの太鼓の音が聞こえてくると、あなたを産んだ日を思い出すと母はよく言っていました。結婚して九州から関東に出て来た父母がどんな気持ちだったか私は聞いたことがあ

りません。今で言えば、日本からアメリカに渡って出産する事とほぼ同じ体験だったと

南加キリスト教教会連合

母への手紙

平湯 晴彦

思います。父は家を空けることとの多い仕事だったので、母は新しい土地で心細い中で私を産んでくれたのでしょう。

で遊んだりしましたが、母は何も強制しませんでした。一人遊びに飽きた私は、自分から幼稚園に戻り、いじめっ子と上手に付き合い、無事に卒業できました。そんな昔の事や最近の事を思い出しながら、感謝の言葉を書いて手紙を出すと返事が届きました。私からの手紙を「宝物だよ」と言ってくれました。喜んでくれました。それだけでなく、あなたを塾に行かせてやれなくてごめんねと書いてありました。母の優しい心に触れて目頭が熱くなりました。私はそろばん塾や習字教室にも行かせてもらったし、学習塾の件は私が断ったことも忘れていたようです。私は、この年になって気づくようになりました。感謝の心の乏しい人間だったなど。もっと感謝の言葉を口から発したい。身近な人に、ありがとうをたくさん言いたいと思いました。「感謝の心を持つ人になりなさい」(コロサイ人への手紙3章15節) (オレンジコーストフリーメソジスト教会牧師)

りするので「幼稚園に行きたくない」と私が話すと、母は自由にさせてくれました。それで、家にいたり近くの広場